

活力のあふれる 「健やかな体」づくりのために

「食育」という言葉が、私たちの耳にもだいが定着してきました。

食育は「生きる力」を身に付けるために必要な、知育・徳育・体育の基礎であり、健全な食生活を送るための知識と、食を選択する力や豊かな人間性を育むために欠かすことのできない大切な教育の一つです。

旭市学校給食センターでは、安全・安心で栄養バランスの取れた、おいしい手作り給食の提供と、給食を生きた教材として活用し、生涯にわたり心も体も健康な生活を送ることのできる児童生徒の育成を目指しています。

【学校における食育の3つの柱】

①食に関する教育の充実

●給食時間の指導

市内の小学校全学級を対象に、給食時間に学校を訪問し、各学年に応じた内容で、千葉県の産物や望ましい食習慣の指導を行っています。

●給食時一言指導資料の作成

日々の給食指導の参考資料として、小中学校全学級に一言指導資料を配布し活用しています。

●食育掲示物の作成

触れて学べる食育掲示物を作成し、子どもたちの興味関心を引き出しています。

②学校給食の充実

●「千産千消デー」の実施

児童生徒が、地域の産物を活用した給食を食べることで、地域の自然や食文化、産業などへの理解を深め、感

謝の心を持つことができるよう、千産千消デーを実施しています。

※「ちさんちしょう」とは地域生産地域消費などの略で、地域で作られた農水産物を、その地域で消費すること。一般には「地産地消」と表記されます。千葉県は独自の取り組みを表現するため「地」の部分で、同音で千葉を意味する「千」にし「千産千消」としています。

●「全国味めぐり給食」の実施

毎月1回、一つの都道府県を取り上げ、その土地の郷土料理や特産物・食文化を紹介する全国味めぐり給食を実施しています。



【例】北海道

- 麦ごはん
- 鮭のちゃんちゃん焼き
- 昆布サラダ
- 芋団子汁
- ヨーグルト

全国味めぐり給食

③家庭・地域との連携

●親子給食・家庭教育学級

小学校1年生の保護者を対象とした親子給食では、実際に給食を食べてもらい、1食の栄養バランスや適切な量を伝えています。

また家庭教育学級では、食に関する講話を通し、家庭での食生活のあり方を見直すきっかけづくりを行っています。

●旭市PTA連絡協議会母親委員会主催調理講習会

旭市の豊かな食を体感し、食育への理解を深めてもらおうと、保護者を対象に地元食材を生かした調理講習会を行っています。

教 育 委 員 コ ラ ム



出羽三山行

教育委員会委員
小倉 和也

昨年の8月21日から23日、出羽三山行、いわゆる奥参りの町内同行に出掛けてきました。私たちの町内では、26年前に大山参り、18年前には富士山、そしておとしは関西へと、昔から伝統的に行われています。

今回の同行は私たちを含め、隣町内の人たちも合わせ総勢13人の同行となりました。

1日目は羽黒山で出羽三山神社を参拝。天候も良かったので、2日目は月山登山をすることに。8時に宿を出

発し、バスに1時間ほど揺られ8合目に到着。登山道には、あちらこちらに雪渓が残っており、少し肌寒くはありましたが、たくさんの色とりどりの花が咲き、山頂までの道のりを、飽きさせずに楽しませてくれました。そして、山頂で昼食を済ませ湯殿山へ向かいました。ルートは岩がごろごろ険しいため、ほとんどの人がリフトで下山。歩いて隣の湯殿山へ向かう人は誰一人としていませんでした。ここからの道のりは修験道のように、急な下り坂や鉄ばしごなどで、もう足はぱんぱん。湯殿山では、ご神体から湯が湧き出る5mほどの岩を、はだして登るのがつらいこと……。

こういった、昔ながらの風習やしきたりなど、今の時代には合わないかもしれないが、それ以上に、良い仲間たちと苦しいながらも同行旅行ができたことは、貴重な経験となりました。同時に旭の子どもたちにも、仲間と共に同じ目的を達成するすばらしさを知ってほしい、と感じた旅行でもありました。